

西東京市立東伏見小学校

校長 中嶋 太

# かけはし



学校HP

“アツイ夏”

校長 中嶋 太

今日から、2学期が始まりました。子どもたちの明るく元気な声が響き渡り、学校に活気が戻りました。2学期には、10月26日の運動会の他、生活科見学、社会科見学、赤城移動教室などの校外学習が予定されています。夏から秋、秋から冬へと季節は大きく移り変わっていくことでしょう。子どもたちが皆仲良く、伸び伸びと生活していけますよう、ご家庭・地域での見守りをお願いいたします。

さて、皆さんにとって、今年の夏は、どのような夏だったのでしょうか？楽しい思い出の残る、充実した夏休みであればよいのですが…。皆さん方に共通したイメージとして、“アツイ夏”があったのではないのでしょうか。

今年の夏は、例年に増して一段と“暑い夏”でした。35度を超える猛暑日の日数が、練馬観測所で30日以上もありました。連日の唸るような暑さで、「身を守る行動を取りましょう」とニュース番組でも注意喚起を呼びかけるほどです。こうした文面をここ数年毎年のように書いているような気がします。また、突然の雷雨で、辺り一面、バケツをひっくり返したような大雨に見舞われることが度々ありました。地球温暖化へと着実に近づいていると思うと、SDGsの重要性を改めて感じる日々です。

“アツイ”と言えば、今年の夏は、家族中が、日本中が、世界中が、パリオリンピックで大いに盛り上がりました。正に、“熱い夏”です。一つ一つの熱戦に感動があり、一人一人の取組にドラマがありました。コロナ禍を乗り越えて実施できた東京オリンピックもすてきでしたが、大歓声の中で競技できるパリオリンピックもすてきです。日本選手の活躍にたくさんの勇気をもらうとともに、スポーツを通じた世界の交流に絆の大切さを感じました。メダリストへのインタビューの中で、夢を大切に追いつけてほしいと願う、子どもたちへのメッセージが心に残ります。夢をもらった人が、次は夢を与える人になる、そうした好循環がよりよい未来をつくるのです。パリオリンピックを通じて、子どもたちにどんな夢が残ったのでしょうか。引き続き、パリパラリンピックの白熱に熱い声援を送りたいです。

さらに、“アツイ”でつなげていきます。夏休みの初め頃、「わくわく子ども祭」がありました。今年の子ども祭には、児童数を上回る参加者があったそうです。この日のために、保護者・各種団体の皆様には様々なご準備をいただきました。教職員の参加もありました。また、夏休みの終わりには、恒例の「ラジオ体操」がありました。早朝とはいえ、日影を見付けて、気持ちよく体操をしました。こうした取組は、厚いもてなしの現れです。こじつけかもしれませんが、“厚い夏”とさせていただきます。本校の保護者・地域の皆さんには、日本人が古くから大切にしている「もてなし」の心が溢れています。ありがとうございます。もてなしをもらった人が、次はもてなしを与える人になる、そうした好循環の未来を期待しないではありません。

☆9月 生活目標 「係や当番の仕事ですすんでしよう」

学校には、給食当番や掃除当番、係活動や委員会活動など、みんなが気持ちよく生活するために必要な仕事が多くあります。どの仕事も集団で生活する上でとても大切な役割です。自分からすすんで取り組んだり、責任をもって担当したりすることで充実感や達成感が味わえます。その良さを味わえるよう今後も指導してまいります。

